

マンボイズ・リムギター・片影

中野譜庫



卷 頭 辭

昨年十一月、「マンドリンギター及其オーケストラ」を刊行した私達は、茲に第二單行本たる本書を同好家の座右に呈するの光榮を有する。

此書は斯界の諸家の筆に成れる感想印象記、講話、研究談、紀行文等の拔萃である。元より内容に到つては玉石混淆の嫌あり、又其説く所必ずしも吾々の同感を表し得るものゝみに非ざるも、而も各家の感情、觀察等を探究し得る點に於て、必ず讀者の研究上有力なる參考資料となる事を信ずるものである。

諸稿の多くは、數年乃至十數年の昔に於て書かれたものである。讀者或は此故を以て、此書が過去の記録のみと叫ばるゝかも知れない。然しながら金言は永久に光を放つ、たとへ金言たらずとするも、尙斯樂の發達の徑路を語る上に於て棄て去る事の出来ないものではあるまいか。特に米國諸家の稿に到つては、疲弊の奈落に陥りたる今日に於て到底見出す事能はざるものが多い。

海外諸家の稿は、田中伸、小西誠一、吉井俊二、武井守城等の諸氏及私自身に據つて譯された。而して夭折せる篤學者徳美清一氏の手に成りたる譯文を加へ得たる事を喜びとすると共に、本書の刊行の爲にオルケストラの全員があらゆる方面に於て努力を惜

しまなかつた事に對して謝意を表するものである。

大正十四年八月三十一日天長節

オルケストラ・シンフォニカ・タケキ會長

武井守成識

目次

ジユゼツベ・ベツテイネ

マンドリン、デュオの起原發達現狀	二
マンドリン研究生に與ふ	七一
マンドリン獨習法	七六
初學者に對する予のマンドリン教授法	八二
ステージに立つ人に	八八
マンドリン奏者に與ふる注意	九四

サミユエル・アデルスタイン

手記	一〇八
日本訪問記	一四九

ヴァーダー・オルコツト・ピツクフオード

進歩に就いて……………一五四

ギターの美と力……………一五八

ギター伴奏譜に就いて……………一六三

ギタリストと比較に依つて生ずる能力……………一六八

貴下はスパニツシ・ファンダンゴを演奏せらるゝや……………一七四

ギター教授者並びに演奏者に呈する書……………一七九

ギター練習上の要素……………一八三

ギタリスト十戒……………一八七

ウキリアム・ブレース

眞のマンドリン曲を演奏せよ……………一九〇

マンドリン奏者に……………一九五

音楽の解釋と其演出……………二〇〇

マンドリンオーケストラについての理想……………二〇三

マンドラとマンドセロの教授者に……………二一一

ジョージ・シー・クリツク

ギターの環境……………二一八

歐洲訪問記……………二二五

サルヴァトーレ・ファルボ・ジャンダレロ

オーケストラ・ア・プレットロへの編曲に就いて……………二三八

ジオヴニニ・ムルトウーラ

グラнде・オーケストラに於けるプレットロ樂器……………二四四

マイロン・エー・ピツクフオード

マンドリンテクニツク上に於ける正確にして迅速なる演奏の熟達に

就いて……………二五二

ウキリアム・フオーデン

ギターのトレモロに就いて……………二六六

ギターの音階練習、及交互運指法に就いて……………二七〇

カルロ・ムニエル (武井守成註)

ムニエルの小論と之に對する世評と……………二七四

管絃樂内及國立音樂學校内に於けるマンドリン、ギター……………三〇九

菅原明朗

マンドリン合奏に表現困難なる音樂形式……………三一六

オーケストラ樂器としてのマンドリン……………三二四

管絃樂よりアレンジしたるマンドリン合奏樂に關して……………三三四

ギターを模倣せる奏鳴樂……………三四一

ギターの演奏に就いて……………三四八

タルレガを聽きて……………三五三

ムニエル雜感……………三六一

小西誠一

ムニエルの四部合奏曲の研究……………三六八

文藝復興期の伊太利美術とフレット樂器……………三七八

武井守成

作品の上より想像せる作曲家の感情……………三九五

ジュリアーニ等の不幸とタルレガ等の幸福……………四〇三

ギターのネイルス(爪彈)に就いて……………四一二

作品第一番の解剖……………四一八

ギター奏法上の氣附かざる缺點と其他のヒント……………四二五

マンドリン演奏上の缺陷……………四三五

西班牙ギターリストと「アンダンテ・センチメンタル」……………四四四

特異なギター曲作家……………四四六

作曲家乃至一般音楽研究家とマンドリン、ギター……………四五二

オルコット・ピツタフォード夫人に寄するの書……………四五六

「生ける音楽」に就きて……………四六三

ムニエルの世に在りし時(對話)……………四六九

鋼線の錆……………四九二

—— 挿 繪 目 次 ——

- ジエゼツベ・ベツタイネ
- サミュエル・アデルスタイン
- プアーダー・オルコット・ピツタフォード
- ウキリアム・ブレイス
- ジョージ・シー・クリツク
- マイロン・エド・ピツタフォード
- ウキリアム・フォード
- カルロ・ムニエル
- 菅原明朗
- 小西誠一
- 武井守成

以上各自稿の初に挿入